

宮古市金浜地区に、別荘『田澤邸』完成 2013年1月19日



建物の周囲は虫よけも兼ねてハーブの生垣も良いかも。

前庭はバーベキュースペースとして芝桜を敷き詰めたり、良からぬ企み進行中。(注 写真はイメージ)

小屋と仮設トイレは本物。そして、バラもあの津波を生き延びた、正真正銘の《奇跡のバラ》です。

まあ、ひらたく言えばプレハブ小屋なんだけど、六畳一間程度の広さです。野崎さんのご厚意で敷地内の一角に置かせてもらいました。仮設トイレも置きましたから、作業の効率もアップ・・・



色見本

の予定ですが、東北の冬は厳しい〜。地表から15cm位まで凍り付いており、ツルハシも歯が立ちません。ほとんどコンクリート状態なので畑の手入れが出来ず、現在は別荘の内装作業をしている状況です。

実は、このプレハブ小屋(正式名称はユニットハウス)は全8色あるので、全シリーズを並べて置きたくなりました。それで、その中の一棟をギャラリーとして開放し、被災者の手作り作品の展示や、特産品の紹介などもできたらと思っています。

もちろんボランティアさんや、ご近所さんが集まって、作品作りを楽しみながら仲良く復興を願う。そんな場としても提供できればと夢は膨らんでいます。

このユニットハウスですが、床にも断熱材をきちんと敷き詰めているので、かなり快適に過ごせます。

野崎さんとは、小屋の周りも花壇にして綺麗にしようとか、中庭をバーベキュースペースにとか話は尽きません。

小屋が完成したとき(置いただけ?)、お汁粉を作って完成披露。紅白のお餅も皆さんに振るまい今後の夢の実現に向けて、一歩前進といったところです。



と〜っても働き者の野崎さん夫妻と、H社製の耕運機です。なんと、カセットコンロ用の小さいガスボンベで動きます。燃費は1時間くらい。短いと思われるでしょうが、20㎡くらいだったら10分くらいで耕しちゃいます。人間の手作業だったら1日?

かわいいキャンプの閉鎖前のある日、体験的にボランティアさんに操作してもらいましたがちょっとコツを掴めばラクチ〜ン。操作が上手な方は向こう一年間、この畑でただで働ける権利をさしあげちゃいますよ。